

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

- (1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。
- (2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができていないか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。

認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。

認識されにくい部分については、各責任者【\*】から全員に説明を行った上で、認識のすり合わせができるように話し合ってください。

【\*責任者】大項目Ⅰに関しては組織のリーダー、Ⅱはプロジェクトリーダー、Ⅲは事務局主担当  
役割を兼任している場合は、あえて分けて説明していただくことはありません。

## 協働事業自己チェックリスト 集計シート（中間）

記入者数N=2

項目	小項目	はい	いいえ	?	合計
Ⅰ. 協働の前提	1. 地域の将来像と事業とのマッチング	2			10
	2. 協働のカタチ	2			
	3-①役割と責任	2			
	3-②コミュニケーションと合意形成	2			
	3-③意思決定と指示系統	2			
Ⅱ. 事業	1. 事業の目的	1		1	9
	2. 事業の成果	2			
	3. 成果の帰属	2			
	4. 事業の完了時期	2			
	5. 事業後の展望	2			
Ⅲ. 事業実施体制	1. 業務分担	2			7
	2. 費用分担			2	
	3. 情報共有	2			
	4. 問題発生時の体制	1		1	
	5. スケジュール管理と進捗確認	2			

# NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[中間期]

試作品

このチェックリストは、  
「市民と行政」が行う「協働事業」を  
「事業に中心的に関わっている人」が、  
事業の企画から実施段階の途中の「中間期」に  
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：伊賀市役所人権政策部男女共同参画課

記入者氏名：中村 輝

記入年月日：平成17年3月15日

協働事業の名称：男女共同参画社会形成促進事業「いきいき未来いが2005」

## ■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには  はい、  
行われていないと思うものには  いいえ、わからないものには  ? を選び、回答を  
○で囲み（データに直接入力の場合は、内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

## I. 協働の前提

## 1. 地域の将来像と事業とのマッチング

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に両者で話し合った、事業終了後の地域や社会に与える影響〔課題解決・社会変革〕の予測や可能性は、事業途中になっても変更はありませんか？

〔ビジョン〕 市民（参加者）に男女共同参画に対する正しい知識を得る機会を提供するとともに、その知識を地域・職場・家庭等に普及させることにより、「自分らしく」生きられる男女共同参画社会の実現をめざし実施する。

## 2. 協働の形態

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

この事業にとって最適と思われる協働の形態〔委託・補助・助成・共催・協力・実行委員会・その他〕を両者で話し合って選択することができましたか？

〔現在の協働の形態〕 委託・共催・協力・実行委員会

## 3. 対等な関係

お互いに依存することなく、事業実施に主体的かつ積極的にとり組む姿勢でのぞみ、お互いの考え方や立場の違いを理解し、多様な価値観を認め合いながら、対等と思える関係を話し合いによって築くことが、事業をより効果的に実施していくために重要です。

## ① 役割と責任

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

この事業を効果的に実施する上で必要となる資源（人・物・予算・情報）を話し合い、それぞれが適切な役割とそれに見合う負担をするなど、適した役割を担い、共に事業を実施している認識を持って責任を果たしていますか？

## ② コミュニケーションと合意形成

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

お互いに事業に関わる情報を提供し合い、事業の方向性の確認や事業内容の変更について意見を交換するなど、必要と思えることをいつでも話し合える手段を持ち、また、機会や場をつくるなどして合意形成に努めていますか？

## ③ 意思決定と指示系統

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

お互いに相手の意思を尊重した合意形成に基づく意思決定の方法を検討し、速やかに意思決定を行える体制があり、指示が問題なく伝達されていますか？

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

## II. 事業

## 1. 事業の目的

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に両者で話し合った事業の目的は、現在、事業全体の指針として全員に意識され、目的に沿った事業内容となっていますか？

[事業の目的] 男女が性別に関わりなく、対等な立場で認め合う男女共同参画社会の実現を目的として、事業を実施する。

また、事業主体は市民（実行委員）であり、行政と協働して事業を実施する。

2. 事業の成果

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を始める時に両者で話し合った成果目標は、現在、事業全体のゴールとして全員に意識され、事業終了時に達成が期待できますか？

[事業の成果目標] 事業への参加者が学んだことを、地域・職場・家庭等に反映させ、社会変革の契機になることを期待する。

3. 成果の帰属

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業終了時における具体的な成果（物）とその帰属について、両者で話し合い、合意が取れていますか？

[具体的成果（物）] 市民（実行委員）主体となり、行政と協働で事業を実施すること。

[帰属] 事業参加者

4. 事業の完了時期

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を始める時に両者で話し合い設定した事業期間が、期待された成果目標を達成するために適切であったかどうかを話し合い、事業完了時期の合意が取れていますか？

5. 事業後の展望

はい	いいえ	？
----	-----	---

協働事業終了後に、この事業が今後どのような形で続いていくことが望ましいか、事業が地域や社会に与える影響〔課題解決・社会変革〕について考慮し、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討していますか？

[事業後の展望・方向性] 事業実施後、反省会を開催し次年度以降への事業に活かしていく。

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

### Ⅲ. 事業実施体制

#### 1. 業務分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業開始の際にお互いに決められた事業実施にともなう業務分担は、お互いにとって納得のいくものであり、予想外に負荷がかかる場合については、両者で話し合いの上、変更するなどの対応を図っていますか？

#### 2. 費用分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業開始の際にお互いに決められた事業実施にともなう費用分担は、お互いにとって納得のいくものであり、予想外に費用がかかる場合については、両者で話し合いの上、費用分担の変更や外部からの資金調達などの対応を図っていますか？

#### 3. 情報共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を円滑に実施するために、事業に関する情報を入手後、スピーディーかつ積極的に協働のパートナーに提供し、情報共有に努めていますか？

#### 4. 問題発生時の体制

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業実施に関して問題が発生した場合は、速やかに両者で問題について情報共有し、解決に向けた話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者を交えて協議するなどの体制はありますか？

#### 5. スケジュール管理と進捗確認

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を準備・実施するにあたり、関係者間で業務遂行の時期が明確になっており、進捗状況を互いに連絡し合い、効果的な進め方ができているかを確認する体制があり、対処できていますか？

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

# NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[中間期]

## 試作品

このチェックリストは、  
「市民と行政」が行う「協働事業」を  
「事業に中心的に関わっている人」が、  
事業の企画から実施段階の途中の「中間期」に  
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：伊賀市男女共同ネットワーク会議

記入者氏名： 森川 寿子 竹内文子

記入年月日 2005年3月15日

協働事業の名称： 伊賀市男女共同参画フォーラム  
いきいき未来いが 2005

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには **はい**、行われていないと思うものには **いいえ**、わからないものには **?** を選び、回答を○で囲み（データに直接入力の場合は、内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 協働の前提

1. 地域の将来像と事業とのマッチング

はい  いいえ  ?

事業を始める時に両者で話し合った、事業終了後の地域や社会に与える影響【課題解決・社会変革】の予測や可能性は、事業途中になっても変更はありませんか？

[ビジョン] **変更なし**

2. 協働の形態

はい  いいえ  ?

この事業にとって最適と思われる協働の形態【委託・補助・助成・共催・協力・実行委員会・その他】を両者で話し合って選択することができましたか？

[現在の協働の形態] **実行委員会**

3. 対等な関係

お互いに依存することなく、事業実施に主体的かつ積極的に取り組む姿勢でのぞみ、お互いの考え方や立場の違いを理解し、多様な価値観を認め合いながら、対等と思える関係を話し合いによって築くことが、事業をより効果的に実施していくために重要です。

① 役割と責任

はい  いいえ  ?

この事業を効果的に実施する上で必要となる資源(人・物・予算・情報)を話し合い、それぞれが適切な役割とそれに見合う負担をするなど、適した役割を担い、共に事業を実施している認識を持って責任を果たしていますか？

② コミュニケーションと合意形成

はい  いいえ  ?

お互いに事業に関わる情報を提供し合い、事業の方向性の確認や事業内容の変更について意見を交換するなど、必要と思えることをいつでも話し合える手段を持ち、また、機会や場をつくるなどして合意形成に努めていますか？

③ 意思決定と指示系統

はい  いいえ  ?

お互いに相手の意思を尊重した合意形成に基づく意思決定の方法を検討し、速やかに意思決定を行える体制があり、指示が問題なく伝達されていますか？

上記「はい」と答えた合計 **5**

II. 事業

1. 事業の目的

はい  いいえ  ?

事業を始める時に両者で話し合った事業の目的は、現在、事業全体の指針として全員に意識され、目的に沿った事業内容となっていますか？

〔事業の目的〕

会員独自の活動を尊重し、連携と情報交換を通じて、男女相互の意識  
変革及びネットワークを強化しながら、真の男女共同参画社会を目指すことを目的とする。

2. 事業の成果

<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> ?
-------------------------------------	---------------------------	-------------------------

事業を始める時に両者で話し合った成果目標は、現在、事業全体のゴールとして全員に意識され、事業終了時に達成が期待できますか？

〔事業の成果目標〕

意識変革、社会変革に向けて達成が期待できる。

3. 成果の帰属

<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> ?
-------------------------------------	---------------------------	-------------------------

事業終了時における具体的な成果（物）とその帰属について、両者で話し合い、合意が取れていますか？

〔具体的成果（物）〕

〔帰属〕

4. 事業の完了時期

<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> ?
-------------------------------------	---------------------------	-------------------------

事業を始める時に両者で話し合い設定した事業期間が、期待された成果目標を達成するために適切であったかどうかを話し合い、事業完了時期の合意が取れていますか？

5. 事業後の展望

<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> ?
-------------------------------------	---------------------------	-------------------------

協働事業終了後に、この事業が今後どのような形で続いていくことが望ましいか、事業が地域や社会に与える影響〔課題解決・社会変革〕について考慮し、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討していますか？

〔事業後の展望・方向性〕

男女共同参画の意識変革、社会変革をめざして、政策決定の場に女性が進出していくことが望ましい。市役所の管理職の登用、各種団体長などの体制をつくらせていく。

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---



### Ⅲ. 事業実施体制

#### 1. 業務分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業開始の際にお互いに決められた事業実施にともなう業務分担は、お互いにとって納得のいくものであり、予想外に負荷がかかる場合については、両者で話し合いの上、変更するなどの対応を図っていますか？

#### 2. 費用分担

<del>はい</del>	いいえ	?
---------------	-----	---

事業開始の際にお互いに決められた事業実施にともなう費用分担は、お互いにとって納得のいくものであり、予想外に費用がかかる場合については、両者で話し合いの上、費用分担の変更や外部からの資金調達などの対応を図っていますか？

#### 3. 情報共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を円滑に実施するために、事業に関する情報を入手後、スピーディーかつ積極的に協働のパートナーに提供し、情報共有に努めていますか？

#### 4. 問題発生時の体制

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業実施に関して問題が発生した場合は、速やかに両者で問題について情報共有し、解決に向けた話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者を交えて協議するなどの体制はありますか？

#### 5. スケジュール管理と進捗確認

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を準備・実施するにあたり、関係者間で業務遂行の時期が明確になっており、進捗状況を互いに連絡し合い、効果的な進め方ができているかを確認する体制があり、対応できていますか？

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

- (1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。
- (2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができていないか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。  
認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。  
認識されにくい部分については、認識のすり合わせができるように話し合ってください。
- (3) 話し合った結果は、次回の協働事業を実施する際にお役立てください。

## 協働事業自己チェックリスト 集計シート（完了）

記入者数N=2

項目	小項目	はい	いいえ	?	合計
I. 事業の結果	1. 問題発生時の体制	1		1	8
	2. クレームの吸い上げとフィードバック	1		1	
	3. 事業実施後の振り返り	2			
	4. 成果の達成	2			
	5. 事業の将来展望	2			
II. 事業の成果	1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度	1		1	6
	2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度	1		1	
	3. 人々の自立性の向上	1		1	
	4. 新たなネットワーク	2		1	
	5. 地域や社会に与えたインパクト	1		1	
III. 実施の結果	1. 協働意識の醸成	1			3
	2. 協働の満足度	1			
	3. 協働のコストの分担			1	
	4. 今後の協働の改善	1			
	5. 結果の公開と説明責任			1	

# NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

試作品

このチェックリストは、  
「市民と行政」が行う「協働事業」を  
「事業に中心的に関わっていた人」が、  
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に  
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：伊賀市役所人権政策部男女共同参画課

---

記入者氏名：中村 輝

---

記入年月日：平成17年3月15日

---

協働事業の名称：男女共同参画社会形成促進事業「いきいき未来いが2005」

---

## ■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには  はい、  
行われていないと思うものには  いいえ、わからないものには  ? を選び、回答を  
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

## I. 事業の結果

## 1. 問題発生時の体制

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

## 2. クレームの吸い上げとフィードバック

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

## 3. 事業実施後の振り返り

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源（人・物・予算・情報）、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果] 事業実施後、各実行委員が意見交換を行い、改善点等を次年度事業へ活かすための反省会を開催した。

## 4. 成果の達成

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

（\*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります）

[成果] 実行委員、行政が協力して本事業実施の啓発を行った結果、予定以上の参加者を集めることができ、参加者の事業に対する評価も良好であった。市民（実行委員）主体の事業ができ、行政との協働事業をすることができた。

## 5. 事業の将来展望

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	----------------------------

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案] ①本事業を他事業と重ならない日程で実施すべきである。②マスコミ対策等、より事業実施の広報活動に力を入れるべきである。③アンケート回答用に筆記用具や老眼鏡の準備をすべきである。④川柳の募集期間はもっと長くすべきである。⑤配布した封筒に、問い合わせ先の住所と市外局番を入れるべきである。⑥物品販売の場所を検討すべきである。

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

## II. 事業の成果

### 1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声] 参加者から、本事業に対するアンケート用紙を回収し、分析した。

### 2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声] 報告書は本年度中に作成し、次年度の男女共同参画ネットワーク会議総会において報告し、会員の意見を聴く予定である。  
決算書については、本事業委託料の監査を監査委員（2名）により実施する予定である。

### 3. 人々の自立性の向上

はい	いいえ	？
----	-----	---

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

### 4. 新たなネットワーク

はい	いいえ	？
----	-----	---

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

### 5. 地域や社会に与えたインパクト

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響] 社会変革とまではいかないが、本事業への参加者のアンケート結果を見る限り、男女共同参画に関する意識を深める事業を実施することができたと思われる。

上記「はい」と答えた合計	1
--------------	---

### Ⅲ. 実施の結果

#### 1. 協働意識の醸成

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

#### 2. 協働の満足度

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

#### 3. 協働のコストの分担

はい	いいえ	？
----	-----	---

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感] 全実行委員が事業に対して熱意があり、協力的であったが、行政側からの依頼中に負担感を生じさせるものがあった。

#### 4. 今後の協働の改善

はい	いいえ	？
----	-----	---

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源(人・物・予算・情報)調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント] 次年度も実行委員会を重ね、実行委員のアイデア等を積極的に取り入れた事業を実施したい。

#### 5. 結果の公開と説明責任

はい	いいえ	？
----	-----	---

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

# NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

## 試作品

このチェックリストは、  
「市民と行政」が行う「協働事業」を  
「事業に中心的に関わっていた人」が、  
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に  
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：伊賀市男女共同参画ネットワーク会議

記入者氏名：森川 孝子・ 竹内文子

記入年月日 2005年 3月15日

協働事業の名称：伊賀市男女共同参画フォーラム  
いきいき未来いが。2005

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには  はい、  
行われていないと思うものには  いいえ、わからないものには  ? を選び、回答を  
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

はい  いいえ  ?

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

はい  いいえ  ?

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

はい  いいえ  ?

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源(人・物・予算・情報)、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果] 実行委員会を働き、あらゆる面から意見交換を行った。会員の努力により、予想以上の参加者があり、大成功をおげた。

4. 成果の達成

はい  いいえ  ?

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？  
(\*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります)

[成果] 達成できた。男女共同参画社会実現に向け進んでいることを感じる

5. 事業の将来展望

はい  いいえ  ?

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言とまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案] 検討した。政策提言とまではいかないが、女性も男性も対等なパートナーとして活躍していける社会をつくるため、政策決定の場への女性の進出の体制づくりの努力。

上記「はい」と答えた合計 5



II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

アンケートの結果 } 十分満足したように思う。年度末総会で今後の事業に  
受益者の声 } つなげていく

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

事業を実施する事により、受益者が十分満足していた。(講演、分科会、展示)  
今後につなげていく事ができると思う。

3. 人々の自立性の向上

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を実施することにより、期待された影響【課題解決・社会変革】を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

本年度は、男女共同参画ネットワーク会議の構成メンバー、自治会(男子ばかり)会長、商工会議所青年部(男子のみ)が加わった。そのことにより、事業の参加者に男性が多かった。  
意識変革、社会変革の第一歩は、参加し話し合うことから始める。参加者も多く、男性も女性も「自分らしく」生きていくことが大切であることを学んでくれた。  
生き生きと、安心して暮らすことができて、社会の第一歩をふみ出すことができたのはと思う。

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

### Ⅲ. 実施の結果

#### 1. 協働意識の醸成

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

#### 2. 協働の満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

#### 3. 協働のコストの分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

【生じた負担感】

#### 4. 今後の協働の改善

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源（人・物・予算・情報）調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両方で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

【改善ポイント】

#### 5. 結果の公開と説明責任

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

上記「はい」と答えた合計	
--------------	--